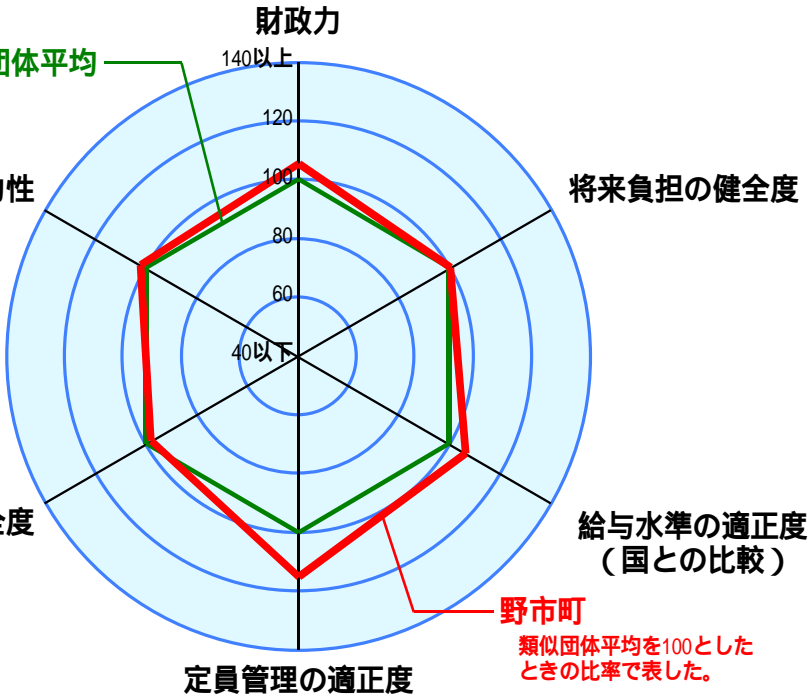
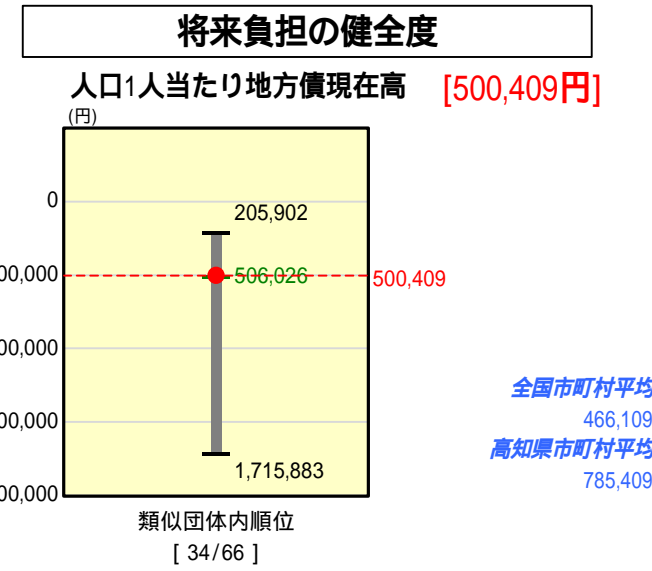
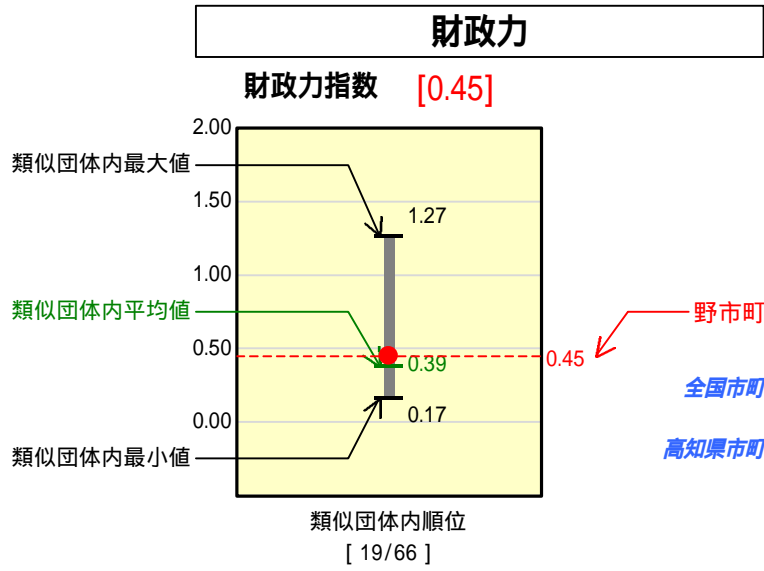


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

高知県 野市町

人口	17,749人(H17.3.31現在)
面積	22.90 km ²
歳入総額	5,575,324千円
歳出総額	5,546,587千円
実質収支	13,569千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【財政力指数】
・近年農地等の宅地化が進み人口増となっているが、依然続く景気低迷により人口の伸びに比例した税収とはなっておらず、また今後も公債費等の伸びが想定されるため、類似団体平均よりも上回る数値となつてはいるが、引き続き行財政改革に取り組み経費節減等に努めるとともに、徴収業務の強化にも取り組む。

【経常収支比率】
・公債費と繰上金の伸びと、国の施策による普通交付税・臨時財政対策債の減額などの理由により対前年度より2.5上昇したが、類似団体平均は上回っている。平成18年3月1日合併により香南市となり、今後とも行財政改革への取り組みの中で経費節減等に努める。

【起債制限比率】
・平成13年度から繰上償還を行い利子分が減少したが、平成13年度許可債の元金償還が本格的に開始となったことによる元金の大幅な増加により公債費負担が伸び、類似団体平均を若干下回る数値となっている。

【人口1人当たり地方債現在高】
・類似団体平均とほぼ同額であるが、平成20年頃に地方債償還のピークをむかえるため今後数値は類似団体を上回る可能性があり、新規地方債の発行を抑制するなど平均を大きく上回ることのないよう努める。

【ラスパイレス指数】
・前年、前々年に給与体系の適正化を行ったうえに、平成17年度に行われた給料カット（8級～5級3%、4級～1級2%、町長5%、助役・収入役・教育長3%）により、給与が押さえられたため前年度（ラスパイレス指数96）より数値がさらに下がっている。合併後もより一層の給与の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
・平成13年度からの5年間の定員適正化計画により、当初の目標はすでに達成され、16年度には目標より2人減となっている。定員モデルと比較しても、15年度以降に下回っている。合併後は退職者数に対する新採用抑制策など考慮しながら、適正な定員管理に努める。

